



R.I会長 ロン D. バートン

第2790地区 ガバナー
関口 徳雄 (浦安)

第5分区 ガバナー補佐
川名 幸雄 (千倉)

第5分区 幹事
鈴木 健史 (千倉)

第2790地区
ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長
関 一憲 (勝浦)

第2790地区
ロータリー財団委員会
資金推進小委員会 委員長
伊藤 正人 (鴨川)

勝浦ロータリークラブ
会 長 中村 昇
幹 事 小林 悠紀

クラブ会報委員会
委 員 長 渡邊 ヒロ子
副 委 員 長 関 一憲
委 員 手塚 明宏
渡邊 光一

◆報告内容

10月18日(金) ガバナー公式訪問

- ・ クラブ協議会
- ・ ガバナー歓迎懇親会

◆本日の例会

10月25日(金) 職業奉仕月間

クラブフォーラム

◆次回例会

11月1日(金) コスモスフェスタに振替

11月3日(日) コスモスフェスタに参加

11月8日(金) 地区大会に振替

11月10日(日) 地区大会

◆ガバナー公式訪問・・・関口徳雄ガバナーを囲んで



◆会長挨拶 中村昇会長



皆さんこんにちは。一昨日は2004年以来の大型台風が関東直撃し千葉県内でも大きな被害を蒙ったようでございます。本日、勝浦ロータリークラブ公式訪問例会、クラブ協議会をここ東急ハーベストクラブ勝浦で開催できました事を嬉しく思っております。

国際ロータリー2790地区ガバナー関口徳雄様、同地区第五分区ガバナー補佐川名幸雄様をお迎えして有意義な会を進めて行きたいと考えております。大変お待ちしております。素晴らしい環境の例会場で当クラブのベテラン会員から新会員まで和気あいあいの雰囲気を見ていただく絶好のチャンスだと思っております。当クラブの活動状況並びに今後の活動計画をガバナーに説明し、ご講評いただく大切な機会を御座います。また、小粒哲也さんの入会式が、ガバナー関口徳雄様訪問時に出来たことは本当に嬉しく思っております。今日は国民栄誉賞の授与について感じることを少しお話ししてみようと思います。授賞者が決まった時にいつも思うことは、何故本人が生前の時に直接手渡してあげられないものかということです。生前であればどんなに喜ぶことだろう。皆さんも感じているのではないかと思います。

今年2月、昭和の大横綱大鵬の故納谷幸喜さんに対する国民栄誉賞の表彰式が首相官邸でありましたが、これまで個人として受けた20人のうち、亡くなった後で授賞が決まったのは、大鵬さんで12人目になります。

作曲家の古賀政男さん、歌手・女優の美空ひばりさん、俳優の渥美清さん、映画監督の黒沢明さんなどなど。何時貰ってもおかしくなかった名前が並びますね

温かい拍手に包まれ、心のこもったお祝いの辞が読まれても、天国に届けというのであれば、やはり寂しい気がします。

だが、結局のところ、時の総理大臣の考えで決まるのがこの賞でもあります。授賞の明確な基準もなく、いつも政権の人気どりに使われやすい。あの人はもらったのにこの人はなぜ。授賞の時期が早い、いや遅い云々と。スポーツや文化、芸能の道を一筋に精進してきた人に、そんな尺度で評価を定め、外野が詮索しすぎるのは大変失礼なのかもしれません。

「まだ現役で発展途上」。そういつて2度にわたり辞退したメジャーリーガーのイチロー選手もさすがしく、「もろたら立ションもでけへん」と断った世界の盗塁王、福本豊さんのエピソードも愉快ですが、授賞しようがしまいが、夢や感動を見せてくれた人たちの物語が、この先も伝え継がれていくことに変わりはないと思います。

そこで、考えさせられるのが、勝浦ロータリークラブでも社会貢献、継続的奉仕活動に従事してきた人たちの中から当クラブとして表彰してあげることも士気高揚を図る面からもとても大切ではないかと思えます。関口ガバナー如何でしょうか。今後、検討してみたらどうかと思っております。ありがとうございました。

◆ 委員会報告

◇ロータリー財団委員会 千葉正徳 委員長



お蔭様で、前半分の寄付金が集金できました。今月中に、ポリオに関する寄付金を、一人 30 ドル、通常寄付を 100 ドル、振込みたいと思います。ご協力有難うございました。

◇出席委員会 手塚明宏 委員長（10月18日）



会員数	38名
出席者数	28名
MU数	5名
欠席者数	5名
出席率	86, 84%

◆新入会式・・・小粒哲也 君



本日は、ありがとうございます。小粒哲也（こつぶてつや）と申します。前任の渡邊より急速、引き継いだ形で、この会のことも全くわかっていないのですが、皆様からご指導ご鞭撻をいただきながら、少しでも会のために何かできればと、尽くしてまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



※ガバナー公式訪問の日に入会式というラッキーなスタートを切った小粒哲也君、そして入会1年未満の吉田理愛（よしだりえ）君、磯野武（いそのたけし）君に、ガバナーより励ましの言葉をいただきました。



“私も入会してわずか、やめようかと思ったとき、紹介者の先輩から『石の上にも3年、と言う諺があるでしょ？君は3年も我慢できないのか？』これを言われて、確かに、と思ったんですね。とりあえず、3年我慢してみようかと。3年経てば、ロータリーの面白さがわかってくる、絶対わかってくる。ですから、私から皆さんに贈りたいことばも、3年経てば、ロータリーの面白さがわかってきますから、3年がんばってください。”

◆卓話 関口徳雄ガバナー



皆様、今日は。国際ロータリー第2790地区ガバナーの関口徳雄です。所属は浦安ロータリークラブです。

皆様、既に御案内のとおり、本年度RI会長ロン・D・バートン会長が提唱したテーマは「Engage Rotary, Change Lives」日本訳として「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」というものです。

更に、この意味を以下のように申しております。ロータリーの奉仕では、努力すればするほど多くを得ることができ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるか分かるはずです。そうすることによって、初めて人々の人生を真に豊かにしようというやる気・パワーが湧いてくるのです。そして何よりもあなた、つまりロータリアン自身の人生が豊かになるはずです。このフレーズは、アーサー・シェルドンの説いた「He(One) profits most who serves Best」つまり、奉仕の理念の第二標語に通ずるものとして、私は勝手に解釈しまして地区チームセミナーで申し上げたのですが、後に6月の広島平和フォーラムの席上で私の同期のガバナーエレクトがロンバートン氏に質問したそうです。その時、同氏は、この「Engage Rotary, Change Lives」と第2標語は同じ意味だと答えたそうです。私の本年ガバナーとしての地区運営の方針等につきましては、三大セミナーで申し上げ、又、活動計画書にも記載してあります。

＜元気なクラブを目指して＞（例会は、楽しく且つ緊張あるものに・・・！）奉仕と親睦（友愛）は、ロータリーの2本柱であり、車の両輪であることは過去幾多の先輩ロータリアンが繰り返し述べているところです。そして、奉仕と親睦の両輪が競うように力強く回っている状態をロータリーでは「元気なクラブ」と言います。「親睦」と「親睦活動」を混同する方も多いようですが、両者は違います。親睦とは、申すまでもなく「奉仕の心」を作り出すための例会における諸活動であります。ロータリアン個人の心と心が結合した過程であって

互いに切磋琢磨しながら自らの人格を磨きあう状態を表す概念であります。従って、例会の位置づけが最も大切になります。そのためには、会員卓話にもひと工夫が必要でしょう。マンネリ化した事務的な卓話ではなく、時にはユーモア、ウイット、そしてジョークに富んだ話の中で、奉仕の理念の真髓に迫る研ぎ澄まされた卓話が求められます。

そして、私が各クラブに求める例会の在り方は「例会は楽しく且つ緊張あるものに・・・！」です。

更に今年度は今一歩進め、「会員に奉仕の心を増強させる一つの機会として」ゴルフ・野球・テニス・その他ロータリアンの趣味の世界、即ち、親睦活動を推奨したいと思います。これら趣味の中で、会員同士の深い絆を築いて欲しいと思います。それは結果的に退会防止に繋がるからです。そして、私は、次のように申し上げたい。「ロータリーに潤いを、そして活力を・・・！」と。

＜ロータリーを知らずに退会していく3年未満の新会員の問題＞ 2年か3年かはともかく、各地区で新会員がロータリーの何たるかを知ることなく辞めてゆく問題がクローズアップされております。そして、当地区においても然りです。それを防止する手段の一つとして、会員研修が必要であると思います。

本年度は、早急にガバナー補佐の協力のもと、地区研修リーダー主催による情報研究会を実施しますが、目的は各クラブのベテランロータリアンによる新入会員へのオリエンテーションの実施を目指します。必ず実施して下さい。前述の親睦活動による会員同士の絆に加え、退会防止へと繋げたいと思います。

＜職業奉仕と他の奉仕活動の関係＞

私の極めて個人的な考えですが、職業奉仕委員会は、奉仕活動というより職業を通じた自己研鑽委員会とでもいうべきものではないかと思います。

純粋にロータリアン個人にとっての職業奉仕をかんがえた場合、これは極めて道徳的・哲学的なものであり、自己研鑽に励むことが中心であって、特定のプロジェクトのように外部からハッキリと見えるものではありません。

しかし、この職業奉仕は、「ロータリアンの基本」あるいは「ロータリーの心」と言われているものですから、絶対に失念することはできないのであります。要するに、職業奉仕については、ロータリアン一人一人が大事にし、これを奉仕活動の基礎として捉え、常に振り返る必要があるのです。

つまり、職業奉仕は、これを除く四大奉仕の精神的支柱(バックボーン)であって、キリスト教の聖書、仏教の經典の如きものではないかと思えます。(多分、異論があるかと思えますが…。)

＜ロータリアン全てが職業奉仕を理解しなければならない理由＞

職業奉仕について意味内容定義はともかくとして、「なぜ我々は職業奉仕を理解しなければならないのか？」ですが、ロータリーが他の奉仕団体と異なるのは、この職業奉仕という独特の奉仕活動を持っていることです。

この点については、全てのロータリアンが認めることだと思いません。そうしますと、当然のことながら、ロータリアン一人一人が「職業奉仕とは何なのか」「職業奉仕が如何なるものか」ということについて十分に理解しておく必要があり、ロータリーの内外からいつでも誰に対しても(自らの見解とし)職業奉仕を説明できなければならないのです。

ひるがえって、新入会員に対しても、ベテランロータリアンがしっかりとオリエンテーションを実施して、この点を認識させ、職業奉仕を理解させなければならないのです。

ついでながら、職業奉仕を更に深く理解するためには、その「対となる」ところの社会奉仕を正しく理解しないと、結局のところ、職業奉仕と社会奉仕の区別がつかなくなってしまうのです。そこで、職業奉仕と社会奉仕を厳密に分ける必要が生じてくるのです。そして、当然のことながら「I serve」か「We serve」かの区別にも関連します。

＜私が考える職業奉仕とは＞

極めて抽象的な表現ですが、「自分の仕事の中で、奉仕の理念を追求すること」に尽きると思えます。あくまで個人がなすことです。具体的に申しますと、

① ロータリアンとしては、先ず第一に自分の仕事を真面目にコツコツと一生懸命行うことです。そのためには、自分の仕事に誇りと責任を持ち、又、常に職業倫理的道德的水準の向上を図らなければなりません。

② 第二に、他の人の仕事の価値観も同時に認めることです。

③ 第三に、自分の仕事の腕を社会に役立てることです。

その際の手法は、奉仕の理想(理念)を目標に2つの標語 超我の奉仕 — 弱者を助ける人道的な奉仕活動

He profits most who serves best — 事業の継続的な繁栄を願う。職業奉仕理念を胸に秘め、4つのテストを秤(計り)として、8つの行動規範に基づいて行うことであります。

では、クラブを何をすべきかと言うと、クラブは、この模範となるような実例を示したり、クラブ会員が自己の職業上の腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって自己の目標を実践できるように推奨することです。

◆クラブ協議会～懇親会

例年とは違い、関ロガバナーとディスカッション形式で進められました。ロータリーについて、職業奉仕について、わかり易い卓話、ガバナーのお人柄あふれるお話に、時間はあっという間に過ぎました。

